

# もくじ

<b>第1章 行動生態学の基礎</b>	<b>1</b>
1.1 はじめに	1
1.2 戦略モデル	3
1.3 戦略モデルは近似である	5
1.4 戦略と戦術	6
1.5 条件戦略	7
1.6 戦略モデルの予測	9
<b>第2章 採餌, 捕食回避</b>	<b>17</b>
2.1 はじめに	17
2.2 最適採餌理論とその実例	17
2.3 捕食回避	25
2.4 捕食者と被食者の相互作用	44
2.5 残された課題: 捕食者-被食者関係の進化	45
<b>第3章 移動・どこに住むか</b>	<b>49</b>
3.1 はじめに	49
3.2 位置の時間変化(移動経路)を記録する	51
3.3 移動パターンの分類	53
3.4 位置の変化を生み出すメカニズム	55
3.5 移動の適応的意義, 移動の結果の空間分布	64
3.6 さいごに	70
<b>第4章 メカニズム・至近要因</b>	<b>71</b>
4.1 生態系と表現型と遺伝子型	71
4.2 表現型可塑性と遺伝変異	77
4.3 遺伝的基盤	80
4.4 生物時計と生態リズム	86

4.5	内分泌制御と神経制御	91
4.6	行動形質のトレードオフと行動シンドローム	96
<b>第5章</b>	<b>表現型進化の理論 アダプティブ・ダイナミクス (Adaptive dynamics)</b>	<b>98</b>
5.1	進化的に安定な戦略 (Evolutionarily Stable Strategy)	99
5.2	アダプティブ・ダイナミクス	102
5.3	アダプティブ・ダイナミクスの今後の展開	117
<b>第6章</b>	<b>性・性淘汰 (I)</b>	<b>120</b>
6.1	性とは?	120
6.2	性比	127
6.3	性淘汰	133
<b>第7章</b>	<b>性・性淘汰 (II)</b>	<b>151</b>
7.1	性的対立	151
7.2	配偶システム	156
<b>第8章</b>	<b>親子関係・発達</b>	<b>166</b>
8.1	はじめに	166
8.2	家族のダイナミクスと発達	167
8.3	経験と発達	172
<b>第9章</b>	<b>社会行動</b>	<b>179</b>
9.1	利他行動と血縁選択	179
9.2	生物の遺伝様式と社会進化	184
9.3	血縁認識	190
9.4	血縁度と遺伝的多様性のトレードオフ	193
9.5	コロニー内対立	196
9.6	女王フェロモン：女王の操作か、正直なシグナルか?	204
9.7	おわりに	207
<b>第10章</b>	<b>信号・コミュニケーション</b>	<b>209</b>
10.1	Communication=COEVOLUTION	209

10.2	信号受信メカニズム：刺激の種類と受容器官	211
10.3	種内におけるコミュニケーション	217
10.4	種間におけるコミュニケーション	222
10.5	まとめ	227
<b>第 11 章</b>	<b>進化・系統</b>	<b>228</b>
11.1	形質の進化を歴史として理解する	228
11.2	量的遺伝学によるアプローチ：選択圧の測定	229
11.3	系統種間比較によるアプローチ(1)：系統樹と系統的慣性	232
11.4	系統種間比較によるアプローチ(2)：祖先形質の推測	235
11.5	系統種間比較によるアプローチ(3)：二形質間の相関進化	237
11.6	まとめ	240
<b>引用文献</b>		<b>242</b>
<b>索引</b>		<b>267</b>